

基本情報

佐々木掌子	
所属	現代コミュニケーション学科
職名	専任講師
出身大学	青山学院大学文学部教育学科心理学専攻
出身大学院	青山学院大学大学院文学研究科心理学専攻博士前期課程 慶應義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻後期博士課程
取得学位	博士号(教育学)、慶應義塾大学
専門分野	性科学、臨床心理学、発達心理学、教育心理学
主な担当科目	「対人コミュニケーション」、「生涯発達の心理」、「家族関係の心理」等
主な経歴	2005年、臨床心理士取得 2008年～、慶應義塾大学非常勤講師 2010年～2012年、日本学術振興会特別研究員PD(東京大学、トロント大学)
所属学会	日本性科学会、日本心理臨床学会、日本性同一性障害(GID)学会(理事)、日本パーソナリティ心理学会、日本心理学会、World Professional Association for Transgender Health、International Academy of Sex Research

研究情報

研究課題	多様なセクシュアリティの心理発達と臨床支援
------	-----------------------

■ 主な研究業績(過去10年)

[著書]	【分担執筆】 佐々木掌子(2013)コラム 性同一性における遺伝と環境—教育とジェンダー 安藤寿康・鹿毛雅治(編) 教育心理学—教育の科学的解明を目指して 慶應義塾出版会 352頁 5月 佐々木掌子(2010)コラム 同性愛と性同一性障害 平田裕美・伊藤美奈子(編著) 石井辰典・鎌倉利光・甲村美帆・岩男卓実・山川恵子・上淵寿(共著)心理学入門—こころの仕組みを理解する 建帛社 113. 12月 佐々木掌子(2005)性をめぐるストレス 伊藤美奈子(編)学校全体で取り組む“子どものチカラ”向上作戦! 第5巻 ストレスに負けない心を育てる学校の取り組み 教職研修2月号増刊 教育開発研究所 58-63. 1月 【分担翻訳】 Foshee, V.A. & Reyes, H. L. M.(2014)デートDV, 青年期発達百科事典 第3巻 精神病理と非定型プロセス 佐々木掌子・伊藤美奈子(訳)Brown, B. B & Prinstein, M. J (編)子安増生・二宮克美(監訳)丸善出版 271-279. 3月 ケリー・ジャン(2007)精神疾患の行動遺伝学 —何が遺伝するのか— 佐々木掌子・敷島千鶴・中嶋良子(共訳)安藤寿康・大野裕(監訳)有斐閣(第3章, 第5章, 第8章担当) 10月 261頁
------	---

[学術論文]

【論文・報告書】

Ando, J., Fujisawa, K. K., Shikishima, C., Hiraishi, K., Nozaki, M., Yamagata, S., Takahashi, Y., Ozaki, K., Suzuki, K., Deno, M., Sasaki, S., Toda, T., Kobayashi, K., Sugimoto, Y., Okada, M., Kijima, N., Ono, Y., Yoshimura, K., Kakihana, S., Maekawa, H., Kamakura, T., Nonaka, K., Kato, N., & Ooki, S. (2013) Two Cohort and Three Independent Anonymous Twin Projects at the Keio Twin Research Center (KoTReC). *Twin Research and Human Genetics*, 16(1), 202-216. February

佐々木掌子・平田俊明・金城理枝・長野香・梶谷奈生・石丸径一郎・松高由佳・角田洋隆・柘植道子・葛西真記子 (2012) アメリカ心理学会(APA)特別専門委員会における「性指向に関する適切な心理療法的対応」の報告書要約, *心理臨床学研究* (日本心理臨床学会), 30(5), 763-773. 12月

Wood, H., Sasaki, S., Bradley, S., Singh, D., Fantus, S., Owen-Anderson, A., Di Giacomo, A., Bain, J., & Zucker, K. (2012). Patterns of referral to a gender identity service for children and adolescents (1976-2011): Age, sex ratio, and sexual orientation. *Journal of Sex & Marital Therapy*, 39(1), 1-6. November

Hisasue, S., Sasaki, S., Tsukamoto, T., Horie, S. (2012) The Relationship Between Second-to-Fourth Digit Ratio and Female Gender Identity. *Journal of Sexual Medicine*, 9(11), 2903-2910. November

Hiraishi, K., Sasaki, S., Shikishima, C., & Ando, J. (2012) The Second to Fourth Digit Ratio (2D:4D) in a Japanese Twin Sample: Heritability, Prenatal Hormone Transfer, and Association with Sexual Orientation, *Archives of Sexual Behavior*, 41(3), 711-724. June

佐々木掌子 (2011) 性同一性障害当事者におけるジェンダー・アイデンティティを高めるストレス・コーピングスタイル, *心理臨床学研究* (日本心理臨床学会), 29(3), 269-280.

8月

Sasaki, S. (2010) Developmental change of genetic influence contributing to GID tendency. *CARLS Series of Advanced Study of Logic and Sensibility Vol. 3* Keio University Press 193-199. 3月

佐々木掌子 (2010) 子どもの性同一性障害 —小児期・思春期・青年期のGIDに関する研究動向—, *三田哲学会誌「哲学」*, 第123集, 159-184. 3月

佐々木掌子・山形伸二・敷島千鶴・尾崎幸謙・安藤寿康 (2009) 性役割パーソナリティ(BSRI)の個人差に及ぼす遺伝的性差・環境的性差 *心理学研究* (日本心理学会), 80(4), 330-338. 10月

佐々木掌子・野中浩一・尾崎幸謙・高橋雄介・敷島千鶴・山形伸二・安藤寿康 (2009) わが国における性別違和と異性帰属の得点分布 —双生児データによる性同一性障害傾向の有症割合— *日本性科学会雑誌* (日本性科学会), 27(1), 49-59. 8月

佐々木掌子 (2007) トランスジェンダーの性的自己形成に関する研究 ——ジェンダー・アイデンティティに寄与する要因——, *日本=性研究会議会報* (財団法人日本性教育協会), 19(1), 24-36. 11月

佐々木 掌子 (2007) 性同一性障害の心理的・社会的適応に関する研究 ——ホルモ療法・手術療法の心理的効果——, 研究助成論文集(明治安田こころの健康財団), 第42集, 129-135. 10月

佐々木 掌子 (2007) 性に関する態度や発言が曖昧であった性障害(挿入障害)の一例, 日本性科学会雑誌(日本性科学会), 25(1), 51-56. 7月

佐々木 掌子 (2007) 性同一性障害当事者におけるジェンダー・アイデンティティと典型的性役割との関連, 心理臨床学研究(日本心理臨床学会), 25(2), 240-245. 6月

佐々木 掌子・尾崎幸謙 (2007) ジェンダー・アイデンティティ尺度の作成, パーソナリティ研究(日本パーソナリティ心理学会), 15(3), 251-265. 3月

佐々木 掌子 (2006) 日本語版 幼少期性役割行動尺度(J-PSAI)の作成 —Pre-School Activities Inventoryの邦訳(平成17年度大学院高度化推進研究費助成金報告), 慶應義塾大学社会学研究科紀要, 62, 174-176. 12月

佐々木 掌子 (2006) ジェンダー・アイデンティティと教育 —性的自己形成における遺伝と環境— 三田哲学会誌「哲学」, 第115集, 305-336. 2月

【依頼原稿】

佐々木 掌子 (印刷中) 小児・青年期の性同一性障害への心理的アプローチ —思春期前の性同一性発達に焦点を当てて—, 児童青年精神医学とその近接領域, 13-16.

佐々木 掌子 (2014) 性的マイノリティの子どもたちの現状と課題【連載最終回】, 高校保健ニュース第499号付録, 少年写真新聞社, 8-9. 6月

佐々木 掌子 (2013) 性同一性障害の具体的な性自認機序, 日本医事新報 質疑応答欄, 68-69. 1月

佐々木 掌子 (2013) <社会と教育の架け橋> 多様な性と向き合う教育へ, 階, 23, 帝国書院, 12-13. 10月

佐々木 掌子 (2013) 子どもの性同一障害なんてあるんですか? というあなたにチャイルドヘルス(診断と治療社), 16(1), 12-15. 1月

佐々木 掌子 (2012) ポストンにおける子どもの性分化疾患および性同一性障害の臨床, GID(性同一性障害)学会誌, 5(1), 237-239. 12月

佐々木 掌子 (2012) 臨床現場と性(その4)性同一性障害と性嗜好異常の臨床現場から: トロント大学附属中毒および精神保健センター(Centre for Addiction and Mental Health, University of Toronto)に留学して, 日本性科学会雑誌(日本性科学会), 30(1・2), 79-82. 9月

佐々木 掌子 (2012) 子どもの性同一性障害の研究と臨床 —トロント留学記— 現代性教育研究ジャーナル3月号, 1-6.

佐々木 掌子 (2011) トロント大学附属精神保健研究所(CAMH)における性同一性障害をもつ子どもとその家族に関する臨床と研究, GID(性同一性障害)学会誌, 4(1), 102-106. 12月

佐々木 掌子 (2010) 第11回アジア・オセアニア性科学会 (11th Asia Oceania Congress of Sexology; AOCS)報告 現代性教育月報9月号, 1-6.

佐々木 掌子 (2008) 性同一性障害と心理臨床, 北山修(責任編集) 特集号「性と性同一性」臨床心理学(金剛出版), 8(3), 14-20. 5月

[学会発表]

【国際学会】

Sasaki, S. (2011) X gender identity –qualitative classifications of ideal self-image of MTX and FTX- 22nd WPATH Biennial Symposium, the Emory Conference Center Hotel, Atlanta, Georgia, United States of America, September 24 –28. --- Oral Presentation.

Sasaki, S. (2011) Influential factors on within-person fluctuation in sexual orientation of the transgendered in Japan. Thirty-Seventh Annual Meeting of International Academy of Sex Research, UCLA, Los Angeles, California, United States of America, August 10–13. --- Poster Presentation.

Sasaki, S. (2010) Within-person fluctuation in sexual orientation of the Transgendered in Japan. 11th Asia-Oceania Conference for Sexology, Discovery Kartika Plaza Hotel, Tuban, Bali, Indonesia, August 4~7. ---Oral presentation.

Sasaki, S. (2009) Stress coping styles that raise gender identity among the Transgendered in Japan. The 19th World Congress of Sexology (Sexual Health), Göteborg Convention Centre (Hotel Gothia Towers), Goteborg, Sweden, June 21~25. ---Poster Presentation.

Sasaki, S., Ozaki, K., Takahashi, Y., Yamagata, S., Shikishima, C., Nonaka, K., & Ando, J. (2009) Genetic and Environmental Influences on a GID Tendency among Females: A Study of Japanese Adult Twins. The 21th International Symposium of The World Professional Association for Transgender Health (WPATH), Holmenkollen Hotel, Oslo, Norway, June 17~20. --- Poster Presentation.

Sasaki, S., Ozaki, K., Takahashi, Y., Yamagata, S., Shikishima, C., Nonaka, K., & Ando, J. (2008) Genetic and Environmental Influences on Gender Identity Disorder: A Study of Japanese Adult Twins. 10th Asia-Oceania Conference for Sexology, Beijing, China, Oct 16~19. --- Oral Presentation.

Sasaki, S. (2007) Physical Treatment Effect on Gender Identity among Transgender People in Japan--- Follow up study 3 years later. The 20th International Symposium of The World Professional Association for Transgender Health (WPATH), The Embassy Suites Hotel, Chicago, USA September 5~8. --- Oral Presentation. pp56

Sasaki, S. (2007) Relationship between Gender Identity and Physical Treatment among Transgender People in Japan, The 18th World Congress of Sexology (Sexual Health), Sydney convention and exhibition center, Sydney, Australia April 15~19. ---Oral Presentation.

Sasaki, S. (2006) The Classification of Factors Contributing to Gender Identity among Transgender People in Japan, The 9th Asia Pacific Congress of Sexology, Bangkok, Thailand November 1~4. ---Oral Presentation.

【国際・国内シンポジウム】

佐々木掌子・日高庸晴・遠藤まめた・土肥いつき・康純(以上、シンポジスト)、康純・中塚幹也(以上、座長)(2015)小児期の課題、思春期の課題、青年期の課題 ワークショップ「児童・生徒と性別違和」、第17回GID(性同一性障害)学会 大阪府立大学・大阪 3/21～22.

須藤武司(発表者)、佐々木掌子(指定討論)、山口豊一(司会)(2014)性同一性障害児への間接支援をめぐる一教育行政機関による環境調整のための取り組みー 第33回日本心理臨床学会 パシフィコ横浜、8/26

佐々木掌子(2014)心理発達の視点から見た小児のgender dysphoria 委員会シンポジウム「性同一性障害の概念と精神医学の関わりを再検討するーDSM-5の発表を受けてー」 針間克己・松本洋輔・三橋順子(以上他シンポジスト) 齋藤利和(サブコーディネーター) 第110回日本精神神経学会学術総会 パシフィコ横浜 6/28

Meyer-Bahlburg, H. F. L., Bockting, W., Matsumoto, Y., Sasaki, S., Zucker, K. J. (Organizer and Chair) (2014). The Impact of Changing “Gender Identity Disorder” into “Gender Dysphoria”: A Japanese Perspective. Mini-Symposia: Gender Identity Variants and Psychiatry: From DSM-IV-TR to DSM-5 and Beyond. 23rd WPATH Biennial Symposium, Anantara Bangkok Riverside Hotel, Thailand, February 14 -18.

佐々木掌子(2013)小児・青年期の性同一性障害への心理的アプローチー思春期前の性同一性発達に焦点を当ててー、「児童思春期の性同一性障害(GID)」康純・松本洋輔・池田官司(以上他シンポジスト) 第54回日本児童青年精神医学会総会札幌コンベンション 10/12

佐々木掌子・高橋幸子・康純・金子廣志(以上、シンポジスト)、北村邦夫・石原理(以上、座長)(2013)トロントにおける医療および学校教育での小児期、青年期の性同一性障害への取り組み ワークショップ「児童・思春期のGIDー教育現場と医療現場の協力のために」、第15回GID(性同一性障害)学会 埼玉医科大学・埼玉 3/23～24.

東優子・塚田攻(以上、シンポジスト)、佐々木掌子・山本蘭(以上、指定発言)、齋藤利和・阿部輝夫(以上、座長)(2013)シンポジウム「SOC-7とDSM-5」第15回GID(性同一性障害)学会 埼玉医科大学・埼玉 3/23～24.

出野美那子, 佐々木掌子, 山形伸二, 高橋雄介(以上、話題提供者), 安藤寿康(司会者), 出野美那子・高橋雄介(企画者)(2011)子どもの性同一性障害傾向に関連する環境 ワークショップ「子どもを取り巻く環境要因の総合的な測定を目指してーJapan Environment and Development Index (JEDI)プロジェクト」日本発達心理学会第22回大会, 東京学芸大学, 3月25～27日

山形伸二・平石界・佐々木掌子・尾崎幸謙(以上、話題提供者)、安藤寿康・尾崎幸謙(以上、オーガナイザー)、荘島宏二郎(指定討論者)(2010)性同一性障害傾向の行動遺伝学分析 企画セッション「行動遺伝学の新展開」日本行動計量学会第38回大会 埼玉大学・埼玉 9/22～25.

石丸徑一郎・正岡美麻・富岡美佳(以上、話題提供者)、佐々木掌子・坂口菊恵(企画者・司会者)(2010)ワークショップ「心理学から見た性同一性障害/トランスジェンダー その2」日本心理学会第74回大会 大阪大学・大阪 9/20~23.
佐々木掌子・角田洋隆・梶谷奈生(以上、話題提供者)、森秀都(企画者・司会者)、平田俊明(指定討論者)(2009)ジェンダー・アイデンティティと性同一性障害の見立て 自主シンポジウム「同性愛者の心理臨床について考える —その8 セクシュアリティの見立て—」日本心理臨床学会第28回大会 東京国際フォーラム・東京 9/20~22.

尾崎幸謙・佐々木掌子・藤澤啓子・敷島千鶴・高橋雄介(以上、話題提供者)、藤澤啓子・高橋雄介(以上、企画者)、安藤寿康(司会者)(2009)性同一性障害傾向における遺伝的・環境的影響の発達的变化 ワークショップ「『遺伝と環境』から紐解く人間の行動発達」日本発達心理学会第20回大会 日本女子大学・東京 3/23~25.

佐々木掌子・長坂晟・荘島幸子(以上、話題提供者)、坂口菊恵(企画者・司会者・指定討論者)・正岡美麻(企画者)、酒井嘉子(指定討論者)(2008)性同一性障害/トランスジェンダーの概念整理とデータの紹介 ワークショップ「心理学から見た性同一性障害/トランスジェンダー」日本心理学会第72回大会 北海道大学・北海道 9/19~21.

佐々木掌子(2007)性同一性障害の心理的・社会的適応に関する研究——ホルモン療法・手術療法の心理的効果—— 第42回明治安田こころの健康財団研究成果報告会 明治安田生命ビル・東京 7/28.

佐々木掌子・尾崎幸謙(2007)トランスジェンダーの性的自己形成に関する研究——ジェンダー・アイデンティティに寄与する要因—— 第51回日本性=研究会議家の光会館7階コンベンションホール・東京 6/9.

金子和子・渡邊景子・荒木乳根子・佐々木掌子(2006)性同一性障害に対して臨床心理士に出来ること 自主シンポジウム「性に関して臨床心理士の出来ること」日本心理臨床学会第25回大会 関西大学・大阪 9/15~18.

【国内学会】

佐々木掌子(2010)規定されないものとしてのジェンダー・アイデンティティ—MTXとFTXの質的分類— 第12回GID(性同一性障害)学会 札幌医科大学・北海道 3/20~21.

佐々木掌子(2009)性同一性障害当事者における性指向(sexual orientation)の個人内変動性 第11回GID(性同一性障害)学会 長崎大学医学部記念講堂・長崎 2/13~14.

佐々木掌子・尾崎幸謙・高橋雄介・山形伸二・敷島千鶴・野中浩一・安藤寿康(2008)性同一性障害の遺伝と環境の影響の推定—双生児法による行動遺伝学分析から— 第28回日本性科学学会学術集会 京都大学医学部芝蘭会館 京都 10/5

佐々木掌子(2008)性同一性障害当事者のジェンダー・アイデンティティを高めるストレスコーピング・スタイル——認知行動療法からのアプローチの可能性を探る—— 日本心理臨床学会第27回大会 つくば国際会議場 9/4~7.

佐々木掌子・尾崎幸謙(2008)性同一性障害当事者におけるストレスコーピング・スタイル——ジェンダー・アイデンティティに対する身体治療の効果を調整する認知スタイルとは—— 第10回GID(性同一性障害)学会 高槻現代劇場・大阪

佐々木 掌子 (2007) ホルモン療法・手術療法がジェンダー・アイデンティティに及ぼす効果 ——性同一性障害当事者の3年後の追跡調査—— 日本心理臨床学会第26回大会 東京国際フォーラム・東京 9/27～30.

佐々木 掌子・尾崎幸謙 (2007) 縦断データによるジェンダー・アイデンティティと自尊心における因果の方向性 第9回GID(性同一性障害)学会 pp26 所沢市民文化センター ミューズ・埼玉 3/17.

佐々木 掌子・山形伸二・敷島千鶴・安藤寿康 (2006) 性役割パーソナリティ(BSRI)の個人差に及ぼす遺伝と環境の影響にみられる性差 日本パーソナリティ心理学会第15回大会 東京富士大学・東京 10/7～8.

佐々木 掌子 (2006) ホルモン療法, 手術療法とジェンダー・アイデンティティの関連—性同一性障害当事者275名の結果から— 第8回GID(性同一性障害)研究会 福岡国際会議場・福岡 3/19.

佐々木 掌子 (2005) 性同一性障害当事者のジェンダー・アイデンティティ特徴 日本心理臨床学会第24回大会 福岡国際会議場・京都 9/6～8.

〔講演等〕

佐々木 掌子 (2015) 学校における多様な性の理解と対応 三島市医師会・歯科医師会学校医全員協議会 みしまプラザホテル 3/6

佐々木 掌子 (2015) 成人期における性別違和と性同一性障害 —多様な性に対する医療関係者の必須知識と対応— 第32回川崎市医師会医学会 川崎市医師会館 2/28

佐々木 掌子 (2015) 多様な性の子どもたち —こども病院に求められること— 静岡県立こども病院 院内学術講演会 静岡県立こども病院 2/24

星野慎二・佐々木 掌子 (2015) クラスに一人はいるセクシュアル・マイノリティ ～孤立した子どものエンパワメント～ 横浜市青少年相談センター主催「平成26年度若者相談支援スキルアップ研修」メンタルヘルス特別コース —生きづらい若者への理解と援助— 横浜市青少年相談センター 2/10

佐々木 掌子 (2015) SCに求められる性的マイノリティの児童/生徒についての知識と対応 神奈川県スクールカウンセラー協会 (KSCA) 主催 地球市民かながわプラザ研修室A 2/7

佐々木 掌子 (2015) 性別違和のある方々への心理的支援 ～心理職の立場から～セクシュアル・マイノリティ事例研究会 第3回アドバンスレクチャー 大正大学 1/11

佐々木 掌子 (2014) ジェンダー・アイデンティティと社会と法律と セクシュアルマイノリティの法律相談に向けて(連続研修会) 大阪弁護士会 12/9

佐々木 掌子 (2014) 「多様な性」の理解と対応 日野市教育委員会 人権教育推進委員会研修会 日野市立教育センター講堂11/20

佐々木 掌子 (2014) 「多様な性」の理解と対応 目黒区教育委員会 人権教育推進委員会研修会 目黒区総合庁舎11/18

佐々木 掌子 (2014) 「多様な性」の理解と対応 立川市教育委員会 人権教育推進者研修会 立川市役所205会議室 11/11

佐々木 掌子 (2014) セクシュアルマイノリティのこどもの理解と支援 長野県佐久保健福祉事務所 平成26年度 思春期精神保健福祉関係者研修会 長野県佐久合同庁舎 5階 講堂 10/28

佐々木 掌子 (2014) 性同一性障害の理解のために —性の多様性を知る— いのちの電話「電話相談員研修会」東京ルーテルセンター 9/27

佐々木 掌子 (2014) 小児科医が知っておきたい思春期・青年期の性同一性障害と多様な性 第275回川崎市小児科医学会研修会中原休日急患診療所 9/12

佐々木 掌子 (2014) 文部科学省 第2回学校における性同一性障害に係る対応に関する参考資料作成協力委員会プレゼンテーション 文部科学省5階3会議室 8/29

佐々木 掌子 (2014) 多様な性の理解と学校現場の対応～養護教諭として～ 武蔵村山市教育委員会夏期研修会 武蔵村山市教育委員会 8/20

佐々木 掌子 (2014) 多様な性の理解と学校現場の対応 第2回東京都教育庁指導部研修会 東京都教職員研修センター 6/16

佐々木 掌子・山下敏雅(2014)LGBTの家族と友人のためのワークショップ「ハートをつなごう授業」NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会,NPO法人シブヤ大学,Tokyo Rainbow Week 2013共催 ケアコミュニティ 原宿の丘 5/5

佐々木 掌子(2014)多様なセクシュアリティとコミュニケーション 杉並区教育委員会共催 立教女学院短期大学「2013年度公開講座」2/28

佐々木 掌子(2014)対人援助職が知っておくべきセクシュアリティの知識 「HIVとセクシュアリティ研修会」新潟大学医歯学総合病院主催 講演会 ホテルメッツ新潟 2/22

佐々木 掌子(2013)セクシュアリティの多様性 講演会「当事者の語る生きづらさから考える、予防的保健行動の根幹にあるもの」日高庸晴・藤井航・南和行・吉田昌史(講演者)平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 宝塚大学・大阪 12/7

佐々木 掌子(2013)セクシュアルマイノリティのこどもの理解と支援 長野県保健福祉事務所主催講演会(思春期保健関係者研修会)長野保健福祉事務所 11/19

佐々木 掌子(2013)子どもの性同一性障害にどう対応するか ―カナダの取り組みと日本の現状― The Sixteenth Lilly International Symposium ロイヤルパークホテル・東京 10/26

佐々木 掌子(2013)性的マイノリティが過ごしやすい環境づくり 神奈川県教育委員会 講演会 9/19

帯刀益夫・柏木恵子・佐々木 掌子(2013)『「性差」をどうとらえ、扱うか ― 性別二元性を問う』湯川隆子・高橋恵子(企画者)研究委員会企画シンポジウム 日本教育心理学会第55回大会 法政大学・東京 8/17.

佐々木 掌子(2013)小児の性同一性障害の心理臨床の実践 ―カナダと日本の2例のケースから―,大正大学カウンセリング研究所主催 研修会 7/30.

佐々木 掌子(2013)事例を通して考える子どもの性同一性障害へのトロントとボストンの取り組み,AGP(同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議)主催 研修会 1/14.

佐々木 掌子(2012)小児期・青年期の性同一性障害へのカナダの心理職の取り組みと我が国への示唆,大正大学カウンセリング研究所主催 研修会 10/16.

佐々木 掌子(2012)カナダのトロント市における子どもの性同一性障害の医療サービス―CAMHのシステム― 慶應義塾大学小児科学教室内分泌代謝グループ 代謝カンファレンス 慶應義塾大学医学部小児科外来 10/3.

佐々木 掌子(2011)LGBTIQと学校,都立一橋高校教職員研修会 3/2.

佐々木 掌子(司会)(2010)「これからの『性』の話しよう」柳田正芳・岩崎眞有美(パネリスト) 東京大学駒場祭リディラバ企画11/23.

佐々木 掌子(2010)【小講演】性的自己の非典型性における発達機序と形成 ―多次元動的ジェンダー・アイデンティティモデルからみた性同一性障害/トランスジェンダー―,日本心理学会第74回大会 大阪大学・大阪 9/20.

佐々木 掌子(2008)ジェンダー・アイデンティティと性同一性障害 ―概念整理と臨床の現状― 慶應義塾大学小児科学教室内分泌代謝グループ 代謝カンファレンス 特別企画 gender identityとGID 慶應義塾大学医学部小児科外来 4/30.

Sasaki, S. (2008) The impacts on Japanese Society for the Medicalization of the Transgendered. BDS Symposium, Nepal's New Constitution: Will Inclusion and the Fundamental Rights of Minorities (Based on sexual orientations and gender identities) be ensured? Experience from Japan, Hotel Annapurna, Katmandu, Nepal January 12.

佐々木 掌子(2007)ジェンダーをめぐる遺伝と環境―生物学と社会学をつなぐ行動遺伝学の視点から 第53回「心の科学の基礎論」研究会 明治大学 11/24.

佐々木 掌子(2007)都立高校のスクールカウンセリング 平成18年度 資質の高い教員養成推進プログラム(教員養成GP)教員養成GP連続フォーラム第3回 慶應義塾大学 1/16.

佐々木 掌子・野宮亜紀(2005)ジェンダー・アイデンティティの起源 ―最近の性科学の動向から― 日本女性学会 和光大学 4/30.

<p>[社会活動]</p>	<p>【2014年度】 NHK総合テレビ ニュース番組「News Web」にて、文科省による学校における性同一性障害の実態調査の結果を受けて、解説のためスタジオ出演, 6/13 NHK教育テレビ「エデュカチオ」、テーマ「多様な性の子どもたち—大人にできること—」にて解説のためVTR出演, 10/18 NHK総合テレビ「クローズアップ現代」、テーマ「子どもの性同一性障害」にて取材協力, 12/9 NHK教育テレビ「ハートネットTV」、「WEB連動企画“チェノバ”—今日はLGBT 職場、学校の悩みを中心に—」にて取材協力, 3/26 世田谷区教育委員会人権推進委員</p> <p>【2013年度】 NHK教育テレビ「ハートネットTV」内シリーズ「多様な“性”と生きている」の「第2回 セクシュアルマイノリティーの子どもたち—成長を支える—」にコメンテーターとしてスタジオ出演, 6/4</p>
---------------	---